

# ペットを飼う前のセルフチェックシート

動物保護管理センター

ペットを飼うということは、動物の命を預かることです。ただ「かわいい」だけでは飼いつづけることはできません。ペットを飼う前に、家族みんなで話し合ってください。

## 1 飼うことを家族全員が賛成していますか？

動物を飼うことは、手間も時間もお金もかかります。家族みんなの理解と協力は不可欠です。

## 2 終生飼いつづけることができますか？

動物の寿命は、犬もねこも10年から18年くらいです。この先10年以上ずっと飼いつづけられるか、また、10年後の家族構成もよく考えて下さい。

## 3 十分な世話やしつけのできる大人がいますか？

犬もねこもトイレのしつけなどは最低限必要です。犬の場合、飼い主が信頼できるリーダーでないと、ほかの犬への攻撃やムダぼえ、言うことを聞かないなどの問題行動が起きます。しつけには時間と手間と知識が必要です。特に成犬から飼育をする場合は、根気よく犬にしつけをする必要があります。責任をもって世話やしつけのできる成人の方が管理してください。

## 4 動物が飼養可能な住宅ですか？（借家の場合、家主の同意は得ていますか？）

犬は吠えることもありますし、動物はニオイや毛が飛んでくるなどの苦情の原因となることもあります。借家なら家主さんの許可を得て飼育しましょう。

県から譲渡させていただくねこは室内飼いをお願いしています。外飼いは交通事故や病気の感染、予定外の繁殖などのトラブルが多いため、外飼いを考えている方には譲渡できない場合があります。

## 5 えさ代や治療費などの費用を負担できますか？

動物も毎日えさを食べますし、病気の予防や治療には動物病院の受診が必要です。特に、犬の場合は、更に登録や狂犬病予防注射が義務づけられています。

県が譲渡する動物の多くは、これまでの生活歴がわからないので、病気を持っている場合もあります。歳をとれば病気や痴呆になったり、時には介護が必要になることもあります。譲渡にお金はかかりませんが、その後、かなりの経済的な負担があります。

## 6 毎日の食事の準備や散歩ができますか？

動物を飼うことは一人子供が増えるようなものです。毎日の食事の世話は手間がかかりますし、また、犬は毎日散歩をする等時間的なゆとりも必要になります。

## 7 不妊去勢手術を行いますか？

生まれてくる子犬・子ねこの一生に責任が持てない場合は、不妊去勢手術は飼い主の義務です。発情期の衝動やストレス、異常行動を取り除くことにもなり、子宮や前立腺の病気も予防できます。オス犬は攻撃性が減り、ボスになろうとする行動も緩和されます。

## 8 動物を飼養できない集合住宅等へ転居する予定はないですか？

引き取りを希望される方の最も多い理由が引っ越しです。動物の飼えない集合住宅に引っ越し可能性のある方はもう一度よく考えてみましょう。